

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 本田次男

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,147	△0.1	6	△41.4	8	△36.2	3	△31.4
25年3月期第3四半期	3,151	△3.7	11	△78.9	12	△76.4	5	△89.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 11百万円 (69.2%) 25年3月期第3四半期 6百万円 (△86.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	0.55	—
25年3月期第3四半期	0.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
26年3月期第3四半期	2,852		981		34.4		139.11	
25年3月期	2,554		969		37.9		137.29	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 980百万円 25年3月期 967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,172	3.4	15	—	13	453.1	5	54.2	0.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

②①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	7,055,000 株	25年3月期	7,055,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	6,522 株	25年3月期	4,397 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,049,307 株	25年3月期3Q	7,050,603 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
(その他注記事項)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、政府や日本銀行による大規模な金融政策や景気対策を背景とした円安・株高傾向がより一層顕著となり、景気は緩やかな回復基調が鮮明となりました。しかしながら、雇用や所得環境の好転には至っておらず、加えて平成26年4月からの消費税率引き上げに伴う家計費負担増加への懸念により、依然として生活必需品に対しては消費者の低価格・節約志向は根強く続いております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましても、円安による輸入原材料価格の上昇にも関わらず、消費者の低価格志向のため売価への転嫁が中々難しい状態が続き、収益が圧迫される厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは第2次中期経営計画『創健社「新たな顧客層の獲得と利益重視の経営体質へ」(平成23年4月1日から平成26年3月31日まで)』の最終年度となります当連結会計年度におきましては、売上高拡大のための各種の施策の展開により、売上総利益の額を増加させ、営業利益の確保を図るため、役員・社員一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「副食品」がさば・いわし缶詰及びレトルトカレー並びにコンビーフの売上増により、前年同四半期比27百万円増(3.9%増)の7億37百万円、「油脂・乳製品」がえごま油及びオリーブ油の売上増により、前年同四半期比21百万円増(5.3%増)の4億30百万円、「その他」が空気清浄機の売上増により、前年同四半期比6百万円増(7.4%増)の1億円となりました。しかしながら、「嗜好品・飲料」がわれせんべい及びチョコレート等の売上増があったものの、ブルーノの実及び果汁飲料等の売上減により、前年同四半期比32百万円減(5.8%減)の5億30百万円と、「栄養補助食品」がハトムギ酵素及び乳酸菌の売上増があったものの、ユウグレナ等の売上減により、前年同四半期比16百万円減(9.3%減)の1億61百万円と、「調味料」が有精卵マヨネーズ及びトマト・オニオンドレッシングの売上増があったものの、ゴマドレッシング及び液体だし並びに顆粒だし等の売上減により、前年同四半期比7百万円減(0.8%減)の9億49百万円と、「乾物・雑穀」が蓮根粉及びハトムギ粒の売上増があったものの、雑穀及びひじき等の売上減により、前年同四半期比3百万円減(1.3%減)の2億38百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、31億47百万円(前年同四半期比3百万円減、0.1%減)となり、売上総利益率も26.3%と前年同四半期比0.4ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は8億20百万円(前年同四半期比9百万円減、1.2%減)と削減したのですが、売上高及び売上総利益率の減少がひびき、営業損益につきましては、営業利益6百万円(前年同四半期比4百万円減、41.4%減)となり、経常損益につきましては、経常利益8百万円(前年同四半期比4百万円減、36.2%減)という結果にて終了しました。また、四半期純損益につきましては、四半期純利益3百万円(前年同四半期比1百万円減、31.4%減)となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第3四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	408,820	13.0	430,293	13.7	5.3%増	マーガリン・ペに花油・えごま油・オリーブ油
調味料	956,521	30.3	949,184	30.2	0.8%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし
嗜好品・飲料	562,914	17.9	530,188	16.8	5.8%減	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ
乾物・雑穀	241,829	7.7	238,640	7.6	1.3%減	小麦粉・パン粉・米・雑穀・鰹節・昆布
副食品	710,079	22.5	737,688	23.4	3.9%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰
栄養補助食品	177,567	5.6	161,034	5.1	9.3%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ユウグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌
その他	93,841	3.0	100,810	3.2	7.4%増	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー
合計	3,151,573	100.0	3,147,840	100.0	0.1%減	—

(注) 当連結会計年度から商品構成を見直したため、当第3四半期連結累計期間の販売実績をベースに前第3四半期連結累計期間の販売実績を遡及して組替え、算出しております。

② 仕入実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	293,569	12.6	318,273	13.5	8.4%増
調味料	733,952	31.6	728,540	31.0	0.7%減
嗜好品・飲料	421,400	18.1	406,170	17.3	3.6%減
乾物・雑穀	198,834	8.5	193,810	8.2	2.5%減
副食品	482,995	20.8	511,505	21.8	5.9%増
栄養補助食品	117,644	5.1	105,236	4.5	10.5%減
その他	77,642	3.3	85,898	3.7	10.6%増
合計	2,326,038	100.0	2,349,436	100.0	1.0%増

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億85百万円の増加となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の38百万円減少などがあったものの、「受取手形及び売掛金」の売上高の季節変動により2億68百万円増加及び「商品及び製品」の37百万円増加などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円の増加となりました。この主な要因は、「有形固定資産」の7百万円減少及び「無形固定資産」の5百万円減少などがあったものの、「投資有価証券」の14百万円増加及び「保険積立金」の10百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2億97百万円増加し、28億52百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億78百万円の増加となりました。この主な要因は、「短期借入金」の28百万円減少などがあったものの、「支払手形及び買掛金」の3億3百万円増加などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて8百万円の増加となりました。この主な要因は、「長期借入金」の7百万円減少などがあったものの、「退職給付引当金」の8百万円増加及び「役員退職慰労引当金」の5百万円増加などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億86百万円増加し、18億71百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円の増加となりました。この主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の8百万円増加及び「四半期純利益」の3百万円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動の結果21百万円を得て、投資活動の結果16百万円及び財務活動の結果40百万円を使用し、当第3四半期連結会計期間末には10億40百万円（前年同四半期比43百万円増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローとして売上債権の増加額2億68百万円等により一部相殺されたものの、仕入債務の増加額2億92百万円及び税金等調整前四半期純利益7百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は21百万円（前年同四半期は50百万円の使用）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローとして保険積立金の積立による支出11百万円及び有形固定資産の取得による支出4百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は16百万円（前年同四半期比13百万円減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローとして長期借入れによる収入1億20百万円により一部相殺されたものの、長期借入金の返済による支出1億55百万円などにより、財務活動の結果使用した資金は40百万円（前年同四半期比1百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、31億47百万円（前年同四半期比3百万円減、0.1%減）となり、売上総利益率も26.3%と前年同四半期比0.4ポイント減となりました。しかしながら、第1四半期連結累計期間の売上高は、9億75百万円（前年同四半期比33百万円減、3.3%減）であり、売上総利益率も26.3%と前年同四半期比0.2ポイント減でした。また、第2四半期連結累計期間の売上高は、19億23百万円（前年同四半期比30百万円減、1.5%減）であり、売上総利益率も26.4%と前年同四半期比0.2ポイント減でした。このように、売上高につきましては、四半期を重ねる毎に前年同期比との乖離は狭まっており、売上総利益率につきましても、円安による輸入原材料価格の上昇にも関わらず、消費者の低価格志向のため売価への転嫁が中々難しい状態が続きましたが、平成26年2月度に売価への転嫁を一部予定しております。また、平成25年12月度単月の売上高につきましては、前年同月比で上回りました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費は8億20百万円（前年同四半期比9百万円減、1.2%減）と削減したのですが、売上高及び売上総利益率の減少がひびき、営業損益につきましては、営業利益6百万円（前年同四半期比4百万円減、41.4%減）となり、経常損益につきましては、経常利益8百万円（前年同四半期比4百万円減、36.2%減）という結果にて終了しました。また、四半期純損益につきましては、四半期純利益3百万円（前年同四半期比1百万円減、31.4%減）となりました。

なお、平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は、平成26年1月度単月につきましては、前年同月比で上回りましたし、2月度及び3月度も消費税率引き上げ前の販売強化、更なるコスト削減の推進などにより、より筋肉質の企業体質を構築し、収益力の向上を図ってまいりますので、平成25年5月17日発表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,280,559	1,242,061
受取手形及び売掛金	579,713	847,784
有価証券	32,294	32,308
商品及び製品	164,384	202,208
仕掛品	144	97
原材料及び貯蔵品	21,627	24,084
その他	20,801	36,704
貸倒引当金	△1,720	△1,910
流動資産合計	2,097,805	2,383,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	285,163	284,298
減価償却累計額	△221,349	△223,146
建物及び構築物（純額）	63,814	61,152
土地	79,033	79,033
リース資産	32,752	34,762
減価償却累計額	△7,631	△12,959
リース資産（純額）	25,120	21,803
その他	182,697	179,141
減価償却累計額	△171,626	△169,243
その他（純額）	11,071	9,897
有形固定資産合計	179,041	171,887
無形固定資産		
その他	22,414	16,864
無形固定資産合計	22,414	16,864
投資その他の資産		
投資有価証券	128,582	142,669
保険積立金	94,487	105,456
その他	74,528	34,588
貸倒引当金	△41,921	△2,042
投資その他の資産合計	255,676	280,671
固定資産合計	457,132	469,423
資産合計	2,554,937	2,852,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,946	754,945
短期借入金	547,543	519,539
リース債務	7,273	7,663
未払法人税等	10,366	2,872
賞与引当金	10,132	7,798
その他	81,090	92,746
流動負債合計	1,107,350	1,385,564
固定負債		
長期借入金	165,089	157,998
リース債務	19,547	15,700
繰延税金負債	19,110	24,060
退職給付引当金	169,867	178,515
役員退職慰労引当金	79,700	84,700
その他	24,406	24,835
固定負債合計	477,720	485,809
負債合計	1,585,071	1,871,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	411,979	411,979
利益剰余金	△398,260	△394,363
自己株式	△899	△1,153
株主資本合計	933,284	936,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,683	43,605
その他の包括利益累計額合計	34,683	43,605
少数株主持分	1,899	855
純資産合計	969,866	981,387
負債純資産合計	2,554,937	2,852,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,151,573	3,147,840
売上原価	2,309,469	2,320,464
売上総利益	842,104	827,376
販売費及び一般管理費	※ 830,160	※ 820,377
営業利益	11,943	6,998
営業外収益		
受取利息	2,357	134
受取配当金	1,629	1,731
仕入割引	1,713	1,772
貸倒引当金戻入額	—	1,129
破損商品等賠償金	262	510
その他	1,044	1,100
営業外収益合計	7,008	6,379
営業外費用		
支払利息	5,901	4,518
為替差損	67	562
その他	1	13
営業外費用合計	5,970	5,093
経常利益	12,982	8,283
特別利益		
固定資産売却益	62	207
特別利益合計	62	207
特別損失		
固定資産除却損	3	376
保険解約損	207	241
特別損失合計	211	618
税金等調整前四半期純利益	12,833	7,873
法人税、住民税及び事業税	7,299	5,019
法人税等合計	7,299	5,019
少数株主損益調整前四半期純利益	5,533	2,853
少数株主損失(△)	△145	△1,043
四半期純利益	5,679	3,897

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,533	2,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,426	8,922
その他の包括利益合計	1,426	8,922
四半期包括利益	6,959	11,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,105	12,819
少数株主に係る四半期包括利益	△145	△1,043

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,833	7,873
減価償却費	19,613	18,163
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,509	8,647
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,100	5,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,497	△2,334
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,034	△39,689
受取利息及び受取配当金	△3,987	△1,865
仕入割引	△1,713	△1,772
支払利息	5,901	4,518
為替差損益 (△は益)	△0	562
固定資産除却損	3	376
保険解約損益 (△は益)	207	241
固定資産売却損益 (△は益)	△62	△207
売上債権の増減額 (△は増加)	△240,623	△268,185
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,128	39,878
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△24,546	△40,232
仕入債務の増減額 (△は減少)	189,165	292,258
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,375	△2,181
その他	△11,746	11,648
小計	△42,305	32,699
利息及び配当金の受取額	3,970	2,496
利息の支払額	△5,773	△4,383
法人税等の支払額	△6,459	△9,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,567	21,660
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△234,350	△234,350
定期預金の払戻による収入	232,931	236,450
投資有価証券の取得による支出	△212	△213
有形固定資産の取得による支出	△8,779	△4,405
有形固定資産の売却による収入	50	219
無形固定資産の取得による支出	△7,256	△2,143
貸付けによる支出	—	△1,500
貸付金の回収による収入	937	544
保険積立金の積立による支出	△10,487	△11,869
保険積立金の解約による収入	242	658
その他	△2,819	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,743	△16,558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,670	—
長期借入れによる収入	80,000	120,000
長期借入金の返済による支出	△116,545	△155,095
リース債務の返済による支出	△4,052	△5,567
自己株式の取得による支出	—	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,267	△40,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△562
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△122,578	△36,383
現金及び現金同等物の期首残高	1,120,464	1,077,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 997,885	※ 1,040,920

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
荷造運送・保管費	202,056千円	202,538千円
給料手当及び賞与	233,673	233,173
研究開発費	21,690	18,567
退職給付費用	22,513	22,984
役員退職慰労引当金繰入額	5,100	5,000
賞与引当金繰入額	9,620	7,498
貸倒引当金繰入額	2,401	—

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	1,200,696千円	1,242,061千円
有価証券(MMF等)	32,289	32,308
預入期間が3か月を超える定期預金	△235,100	△233,450
現金及び現金同等物	997,885	1,040,920